希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100―8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災した皆さんやボランティア活動に役立つ情報などをお待ちしています。「さがしています」「がんばろう」「伝言板」への投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

さがしています

〈岩手県〉

☆陸前高田市高田町曲松の福田恵子さん(62)と夫勝男さん（60代）へ　恵子さんのめいで茨城県ひたちなか市の関陽子さん(35)が心配しています。福田さんの家は津波で流されました。関さんは3月下旬、近くの避難所の陸前高田市立第一中学校と遺体安置所にも行きましたが、見つかりません。「ささいなことでも、ご存じの方は電話（080・2047・6467）をください」

☆釜石市鵜住居（うのすまい）町の三浦信子さん(64)へ　東京都練馬区の橋本（旧姓佐々木）秀子さん(62)が捜しています。橋本さんは旧県立釜石南高校と勤務先の私立神愛幼児学園で、三浦さんの後輩でした。4月3〜6日、近くの市立栗林小学校、鵜住神社などに行きましたが会えませんでした。三浦さんは3月30日掲載の本紙の取材に答えていますが、現在の居場所がわかりません。「自宅（03・5935・4990）に連絡をください。後輩の石川朝子さんと小野節子さんも心配しています」

〈宮城県〉

☆名取市閖上に実家があると思われる小島（おじま）幸子さん（35歳ぐらい）へ　埼玉県幸手市の中田智美さん(40)が消息を自宅（0480・42・7147）に求めています。2人は約15年前に東京都立川市のダスキンレントオールでアルバイトをしていました。小島さんは専門学校で音響などの勉強をしていたそうです。「どうしているか心配しています。ご存じの方は連絡ください」

みつかりました

▽20日掲載の福島県南相馬市の志賀チエ子さんは自宅にいました。希望新聞を見た近所の人が、避難先の群馬県から、捜していた東京都の井上明さんに、「津波の被害はなかった」と電話で知らせました。志賀さん宅に電話した井上さんは「原発から20〜30㌔で新聞も郵便も届かないそうですが、無事とわかって涙が出ました。群馬県から電話をくださった方、ありがとうございました」。

がんばろう

ソプラノ歌手
下垣真希さん

被災なさった皆様に、心からのお見舞いを申し上げます。

大変な避難生活にありながらも、人を思いやり、和を尊び、前向きに生きようとしていらっしゃる姿から、現代の私たちが忘れかけている日本人の心根の美しさやすばらしさを、どれほど教えていただいていることか。本当にありがとうございます。

つい最近、東京で東日本大震災への支援チャリティーコンサートを行いました。私のコンサートは「ふるさと」や「朧月夜」など、なつかしい唱歌で彩られています。自然と共に生きた先人たちの優しさや謙虚さ、みずみずしい感性から紡ぎ出された詩と音楽は、多くの人々に共感と感動を呼び、同時に歌っている私自身も励まされています。

悲しい時や苦しい時、こうした歌は必ずや皆様の心を慰めてくれることでしょう。心が折れそうなときは、ぜひ歌ってみてください。

私にできることは微々たるものですが、いつの日か、皆様に歌声を届けに行ける日を楽しみにしております。

伝言板

▼社員寮の無料提供　新日本開発が、社員寮（大阪市城東区今福西、3階建て全6室）の2部屋を光熱費、賃料無料で被災者の方に提供します。単身の男性向けで8畳の和室（エアコン付き）です。風呂、トイレ、キッチン、冷蔵庫、洗濯機は共同です。寮の最寄り駅は大阪市営地下鉄長堀鶴見緑地線の「蒲生四丁目」で、下車徒歩1分。部屋の定員は4人以内、期間は6カ月程度です。「大阪で働きたいという方の就職が決まり、生活が安定するまでの力になれればと思います。知人、友人同士の相部屋も可能です。管理部（06・6543・1175、平日9〜17時）にお問い合わせください」

サポート情報

―東日本大震災―

27日現在

イベント

余震などの影響で中止や変更の可能性もある。

〈岩手県〉

遠野ふるさと村　春物語（遠野市）　29日〜5月5日、遠野ふるさと村。かやぶきの曲がり家を移築し、昔ながらの遠野の集落を再現した体験型テーマパーク。期間中、日替わりで獅子踊りや昔話、子どもが乗れるポニー引き馬、郷土食販売などがある。☎0198・64・2300

がんばろう岩手！　北上展勝地の桜（北上市）　5月5日まで、北上市立公園展勝地。北上川の河畔約2㌔にわたって咲く桜並木を中心に、日替わりで観桜茶会や民謡まつりなど多彩なイベントがある。桜のトンネルを走る観光馬車も運行する。北上観光協会☎0197・65・0300

子供騎馬武者行列（奥州市）　5月3日午後、水沢地区市街地。駒形神社の例祭で、稚児行列とよろいかぶとの子供騎馬武者が市内を練り歩く。市商業観光課☎0197・24・2111

毘沙門まつり全国泣き相撲大会（花巻市）　5月3〜5日、三熊野神社。6カ月〜1歳半の幼児が土俵で向かい合い、先に泣いた方が負けという行事。3日間で約850人が参加する。三熊野神社☎0198・42・3921

〈宮城県〉

春の洋ラン展 in 村田（村田町）　5月8日まで、村田町物産交流センター。町内の洋ラン農家が栽培したカトレアなど約2000鉢を展示即売。10〜16時。☎0224・83・5505

あぶくまの里たけのこ狩り体験（丸森町）　5月3〜8日、丸森町耕野地区。9時50分に耕野ふるさと交流センターに集合し、タケノコ山へ移動。約1時間半のタケノコ狩り体験ができる。タケノコご飯とタケノコ汁の昼食、おみやげ付き。中学生以上1200円、小学生500円。掘ったタケノコは産地価格で購入する必要がある。各日50人限定。事前予約は耕野まちづくりセンター☎0224・75・2134、開催当日は耕野ふるさと交流センター☎0224・75・2271

復興へ頑張ろう！　みやぎ　おおさきうまいもの市（仙台市青葉区）　5月6日10〜16時、勾当台公園（グリーンハウス勾当台前）。大崎市の生産者10店が出店し、新鮮野菜や漬物、乳製品、アユの塩焼き・加工品などを直売する。おおさきアグリビジネス連絡会事務局☎0229・91・0763

〈福島県〉

須賀川牡丹園開園（須賀川市）　5月31日まで、8時半〜17時。全国で唯一、国の名勝に指定されている牡丹園で、樹齢200年を超えるボタンなど約7000株を鑑賞できる。期間中、さまざまな催しも。震災を受け、今年度は無料で公開する。須賀川牡丹園保勝会☎0248・73・2422

風評被害なんかぶっ飛ばせ！　喜多方六斎軽トラ市（喜多方市）　5月5日9〜15時、市中心部のふれあい通り商店街。軽トラ約20台が集まり、荷台で新鮮な野菜や果物、海産物、工芸品などを直売する。バター作り体験や野だて、バーベキューコーナーも。会津喜多方商工会議所☎0241・24・3131

「ありがとう。気を付けて帰ってね！」。県外から来たボランティアの応援スタッフを見送る、名取市社会福祉協議会のメンバー＝宮城県名取市で26日、梅田麻衣子撮影

給付・貸付

■義援金

岩手、宮城、福島3県の一部市町村が受給申請の受け付けを始めた。罹災（りさい）証明書の他に預金通帳や印鑑、本人確認が可能な書類などが必要（自治体によって違う）。受け付け中、または開始予定の主な自治体と申請場所は次の通り。

〈岩手県〉

◆野田村　住民福祉課で受け付け中。

◆宮古市　28日＝崎山小、鍬ケ崎小、宮古二中▽29日＝グリーンピア三陸みやこ、田老総合事務所、重茂漁協▽30日＝花輪農村文化伝承館、磯鶏小、河南中▽5月1日＝宮古小、山口小、藤原小▽2日＝金浜老人福祉センター、宮古市民総合体育館シーアリーナ、愛宕小（いずれも13〜18時）。3日以降は市役所1階が窓口になる。

◆大船渡市　28日＝リアスホール、大船渡地区公民館、旧花菱縫製工場▽29日＝大船渡北小体育館、末崎ふるさとセンター、崎浜公民館▽30日＝大船渡北小体育館、末崎ふるさとセンター、宮野多目的集会施設▽5月1日＝大船渡中体育館など▽2日＝下船渡公民館など▽3日＝南笹崎公民館など▽4日＝赤崎中井公民館（いずれも9時半〜15時）。市役所は4日から受け付け。

〈宮城県〉

◆仙台市　市役所本庁舎と各区役所、宮城総合支所、六郷市民センター、七郷市民センターで受け付け中。9時〜16時半。5月までは土日祝日も対応する。4月29、30日、5月1日のみ宮城野体育館、岡田小でも受け付ける。郵送での申請は、市社会課義援金担当へ。

◆岩沼市　5月15日まで、市役所6階第1会議室で受け付ける。

◆大崎市　社会福祉課、または各総合支所保健福祉課で5月9日から受け付け予定。平日のみ。

〈福島県〉

移転した住民が多く、自治体の窓口のほか、郵送での申請も受け付けている。

◆南相馬市　原町三小体育館で9〜17時。窓口は28日まで**◆相馬市**　市役所分庁舎1階社会福祉課で8時半〜17時**◆いわき市**　各地区保健福祉センターか各支所で9〜17時**◆広野町**　町役場湯本支所で8〜18時**◆楢葉町**　各避難所で受け付け。町外に自主避難中の被災者は災害対策本部☎0242・56・2155へ**◆富岡町**　各避難所で。町外に自主避難中の被災者は災対本部☎0120・336・466へ**◆川内村**　ビッグパレットふくしまCホールで9〜17時**◆大熊町**　郵送などで受け付け**◆双葉町**　郵送などで受け付け**◆浪江町**　二本松市役所東和支所の仮町役場災害給付班で8時半〜17時

■弔慰金

災害救助法に基づき、東日本大震災で亡くなった人の遺族に自治体から災害弔慰金が支給される。犠牲者が生計維持者の場合が500万円、その他は250万円。負傷などで重度の障害を受けた被災者にも災害障害見舞金（生計維持者は250万円、その他は125万円）が支給される。受け付け開始が確認できた市町村は次の通り。

〈岩手県〉釜石市▽遠野市▽大船渡市（※申請場所は義援金受給と同じ）▽久慈市（被災者総合相談所で受け付け）

〈宮城県〉仙台市▽石巻市▽東松島市▽塩釜市▽多賀城市▽七ケ浜町▽山元町▽岩沼市▽名取市▽気仙沼市▽登米市

〈福島県〉いわき市

子ども

■仮設園舎

日本ユニセフ協会が宮城県気仙沼市や石巻市、南三陸町など5市町から要請を受け、被災した幼稚園や保育所、学童保育、障害児デイケアの計7施設の再建を検討している。

宮城県沿岸部の市・町有地で来月中旬にも着工、6〜7月ごろの完成を目指す。1〜2年程度は利用する予定。同協会は仮設園舎の整備のほか学校給食の復旧、教材や文具の寄贈などを進める計画。9月末までに約20億円の予算を組み、うち約16億円は国内外から寄せられた義援金を充てるという。

住宅

■民間借り上げ

仮設住宅の整備が遅れる中、岩手、宮城、福島の3県は民間住宅を借り上げ、被災者に提供している。

広さや家賃など一定基準に基づいた住宅を、被災者の希望とマッチング。県が不動産業者と契約し、家賃を負担する（光熱水費は本人負担）。入居は原則2年間。

被災者が今回の地震後に自ら契約した場合も、一定基準を満たしていれば県との賃貸契約に切り替えることができ、その後の家賃が不要になる。岩手県は切り替え前に本人が支払った家賃も、県がさかのぼって負担する。問い合わせは各市町村へ。

福島県の一部市町村は、民間借り上げ住宅の募集期限が迫っている。福島市＝30日まで☎024・525・3757▽郡山市＝5月10日まで☎024・924・2631▽浪江町＝30日まで☎090・1710・8468

■雇用促進住宅

厚生労働省は、独立行政法人雇用・能力開発機構が所有する雇用促進住宅を、無料で提供している。即入居可能または修繕後に入居可能な物件は、岩手県1920戸▽宮城県618戸▽福島県231戸（21日現在）。家賃、敷金、駐車場は無料で、光熱水費や共益費は本人負担。入居は6カ月ごとに最長2年まで（13年3月末まで）更新できる。問い合わせは各市町村へ。

その他

■宅配便

〈ヤマト運輸〉「宅急便」は岩手、宮城の沿岸被災地と福島の避難区域を除いて通常通り集荷・配達している。27日には岩手、宮城向けの時間帯指定サービスとヤマト便（大型品・高額品）の取り扱い、3県でのコンビニエンスストア受け付けを再開した。ただし、コンビニエンスストアを配達先に指定しての荷物受け取りはできない。営業所の確認は☎0120・01・9625。

〈日本郵便〉「ゆうパック」は3県の一部地域を除いて通常通り配達。福島県で、福島支店など周辺の支店留めのみで受け付ける地域＝南相馬市の一部、浪江町、双葉町、富岡町、大熊町、葛尾村、楢葉町の一部

〈佐川急便〉3県の一部地域で「営業店留め」で取り扱い。27日、福島県南相馬市鹿島区、原町区での集荷・配達を再開した。営業店留めの地域＝岩手県大船渡市、陸前高田市、気仙郡▽宮城県石巻市、東松島市、気仙沼市、牡鹿郡、本吉郡▽福島県南相馬市小高区、双葉郡

医療

〈岩手県〉28日に診療を予定している主な医療機関は次の通り（余震、停電などで変更の可能性あり）。県立久慈、県立宮古、県立釜石、県立大船渡、せいてつ記念、国立釜石、釜石のぞみ、三陸、盛岡赤十字、奥州市総合水沢、久慈恵愛、一関、岩泉

〈宮城県〉外来受診の対応はほぼ通常どおり。診療を制限している病院は次の通り。**診療時間短縮**＝石巻港湾（9〜12時）、猪苗代（9〜12時、14〜16時）、大友（7〜12時、13時半〜15時半）、気仙沼市立本吉（8時半〜11時半、13時半〜16時）、公立志津川（仮診療所で8時半〜11時、14〜16時）▽**かかりつけ患者のみ**＝仙南中央、仙塩総合、南浜中央（仮診療所で精神科のみ平日9時半〜11時半、前日までに要予約）、石巻市立（仮診療所で9〜11時、13時〜15時半）、気仙沼市立（内科、消化器科。急患には対応）、東北公済宮城野（処方のみで8時〜11時半）▽**重症のみ**＝石巻赤十字▽**診療不可**＝石巻市立雄勝、恵愛

〈福島県〉受け入れを制限している主な病院は次の通り。**救患受け入れ制限**＝福島南循環器科、池田記念、公立相馬総合、いわきのすべて（総合磐城共立、福島労災を除く）▽**診療科制限**＝鹿島厚生（内科、外科のみ）、渡辺（内科、外科、整形外科のみ。外科は月火水金、整形外科は月水金）、大町（内科、消化器科、循環器科、整形外科、小児科、口腔外科。外科は金と土午前のみ。いずれもかかりつけ患者優先）、南相馬市立総合（内科、外科）▽**かかりつけ患者のみ**＝星総合（小児科のみ外来診療実施）▽**軽症外来と処方箋のみ**＝小野田

その他地域の情報は県地域医療課（☎024・521・7221）へ。

〈茨城県〉救急医療情報システムで案内☎029・241・4199

■仮設住宅の着工状況■

（国土交通省まとめ。27日午前10時現在）
＊市町村は建設地で、他自治体の住民用に使われる場合もある。カッコ内は着工済みの地区数。戸数は着工予定と着工済みの合計。

市町村	地区数	戸数
＜岩手県＞		
陸前高田市	21(11)	1274
釜石市	16(12)	1666
大船渡市	15(12)	1094
宮古市	24(17)	1188
久慈市	1(1)	10
大槌町	15(9)	1251
山田町	14(7)	858
岩泉町	3(3)	143
洋野町	1(1)	5
田野畑村	2(2)	144
野田村	1(1)	128
住田町	3(3)	93
岩手県計	116(79)	7854
＜宮城県＞		
仙台市	8(6)	722
石巻市	15(13)	1825
塩釜市	2(2)	108
気仙沼市	15(12)	1303
名取市	6(6)	741
多賀城市	4(4)	249
岩沼市	3(3)	374
東松島市	8(7)	923
亘理町	4(4)	854
山元町	5(5)	507
七ケ浜町	4(4)	313
女川町	3(3)	289
大郷町	1(0)	14
美里町	1(0)	12
南三陸町	10(10)	770
宮城県計	89(79)	9004
＜福島県＞		
国見町	4(4)	100
桑折町	1(1)	300
須賀川市	4(4)	194
三春町	5(1)	344
鏡石町	5(0)	100
会津若松市	6(0)	472
相馬市	9(9)	1000
新地町	6(6)	394
白河市	2(2)	140
矢吹町	3(3)	85
西郷村	1(1)	42
いわき市	1(1)	120
福島市	3(2)	586
南相馬市	12(10)	883
会津美里町	1(0)	250
二本松市	7(0)	633
郡山市	4(0)	708
福島県計	74(44)	6351
＜千葉県＞		
旭市	2(2)	200
香取市	1(1)	30
＜栃木県＞		
那須烏山市	1(1)	20
＜長野県＞		
栄村	2(2)	40
総計	285(208)	23499

電話帳

●行方不明者相談ダイヤル

岩手県警　0120・801・471
宮城県警　022・221・2000（9〜19時）
福島県警　0120・510・186（9〜19時）

●交通機関

ＪＲ東日本　050・2016・1600（6〜24時）
ＪＡＬ（国内線）　0570・025・071（7〜20時）
ＡＮＡ（国内線）　0570・029・222

●通信・ライフライン

ＮＴＴ災害用伝言ダイヤル　171
日本郵便　0120・2328・86
（平日8〜22時、土日祝9〜22時）
東北電力　0120・175・366

●医療

＜放射線被ばく相談＞

文部科学省健康相談ホットライン
0120・755・199（9〜21時）
放射線医学総合研究所相談窓口
043・290・4003（9〜21時）

＜人工透析＞

岩手県　県健康国保課　019・629・5471
宮城県　仙台社会保険病院　022・275・3111
（かかりつけ医が対応していない場合のみ）
福島県　県地域医療課窓口　024・521・7221

＜その他＞

日本医師会　03・3946・2121
日本糖尿病協会　0120・151・721（平日9〜18時）
被災がん患者ホットライン（国立がん研究センター）
紹介状あり＝03・3547・5130（平日10〜16時）
紹介状なし＝03・3547・5293（平日9〜18時）
てんかん支援ホットライン　054・245・5446
アレルギー支援ネットワーク　052・485・5208

●生活支援

日弁連電話相談　0120・366・556（平日10〜15時）
岩手弁護士会　0120・755・745（平日13〜16時）
仙台弁護士会　0120・216・151（平日10〜19時）
福島県弁護士会　024・534・1211（平日14〜16時）
日本司法書士会連合会
0120・445・528（平日10〜16時）
あしなが育英会　被災者専用　0120・77・8565
（遺児らに特別奨学一時金を支給）
心の相談緊急電話　0120・111・916
（13〜22時。日本臨床心理士会など）
チャイルドライン0120・99・7777（月〜土16〜21時）
（18歳までの子ども向け電話相談）
震災関連の悪質商法110番　0120・214・888
（10〜16時。国民生活センター。岩手、宮城、福島、茨城4県対象）

＜視聴覚障害者向け＞

「全日本ろうあ連盟」や「全国盲ろう者協会」がウェブサイトで支援情報などを提供。

●省庁　※平日のみ

住宅の補修・再建（国交省）0120・330・712（月〜土）
行政相談（東北管区行政評価局）0120・511・556
（茨城行政評価事務所）0120・188・571
金融相談（東北財務局）　022・721・7078
中小企業相談（経産省）　0570・064・350
農林水産業の被害相談（農水省）0120・355・567
年金の相談（日本年金機構）　0120・707・118※

●金融機関など　※平日のみ

岩手銀行　0120・064・626※
七十七銀行　0120・78・1177
東邦銀行　0120・104・157
ゆうちょ銀行　0120・108・420
東北労働金庫　0120・877・562
住宅金融支援機構　0120・086・353
日本政策金融公庫0120・154・505（土日0120・220・353）
そんがいほけん相談室（日本損保協会）
0120・107・808または03・3255・1306
地震保険契約会社照会センター　0120・501・331※
生命保険相談所（生保協会）　03・3286・2648※
災害地域生保契約照会センター　0120・001・731※

■移転した役所と連絡先■

＜岩手県＞		
陸前高田市	エコタウン鳴石	0192・59・2111
釜石市	シープラザ釜石	0193・22・8253
大槌町	大槌小学校	0193・42・2111
＜宮城県＞		
女川町	女川第二小学校	0225・54・3131
南三陸町	町総合体育館ベイサイドアリーナ	0226・46・2600
＜福島県＞		
広野町	ＦＤＫモジュールシステムテクノロジーいわき工場	0246・43・1331
楢葉町	会津美里町本郷庁舎	0242・56・2155
富岡町	郡山・ビッグパレット	0120・336・466
川内村	郡山・ビッグパレット	024・946・8828
大熊町	会津若松市追手町第2庁舎	0242・26・3844
双葉町	旧埼玉県立騎西高校	0480・73・6880
浪江町	二本松市東和支所	0243・46・4731
葛尾村	会津坂下町・川西公民館	0242・83・2651

★双葉郡支援センター　0120・006・865
福島県双葉郡の上記8町村から避難した住民に連絡を呼び掛けている。8〜22時。

希望新聞

声　被災地から

岩手

及川カツエさん

大船渡市の避難所に張られた新聞を読んでいた陸前高田市高田町、及川カツエさん(40)「家族は無事でした。でも店舗兼住宅が流され、何もかもなくなってしまいました。全国のみなさんからご支援をいただいていますが、いつまで続けていただけるのか。時間がたって落ち着いてくると、不安になります。いろいろ考えるうちにストレスで体調が悪くなってしまい、寝込んでいます」

堀子拓真さん（奥）と近所の佐々木稜真君＝宮古市で24日、川口裕之撮影

宮古市のグリーンピア三陸みやこに避難している堀子（ほりこ）拓真（たくま）さん(19)「専門学校で自動車整備を学んでいます。あと1年で修了したら、自動車ディーラーで働きたい。夢は一流整備工です。でも、もともと景気が良くなかったのに、大震災でどうなるか心配。ハローワークも人が多いみたい。こんな状況だから、早く就職したいです」

避難所の山田高で遊んでいた山田町の宮古高2年、今野美優さん(16)と同町、佐々加恋（かれん）ちゃん(3)「震災の時は宮古高で授業を受けていました。山田町の家族とは3日間連絡がつかず、父と祖父が漁師なので心配だったが全員無事でした。でも友人5人が津波に流された。山田高にはお風呂を借りに来るので子供らと仲良くなりました。27日から学校が始まりましたが、父が漁をできず収入がないため通学の交通費の負担がつらい。震災で助けてもらったので、将来は人の役に立つ仕事に就きたいです」

今野美優さんと佐々加恋ちゃん＝山田町の山田高で24日、片平知宏撮影

陸前高田市気仙町の自宅で片付けをしていた建設業、佐々木守弥さん(62)「津波で自宅が全壊しました。親類10人が亡くなり、2人の安否がまだ分かりません。24日にあった葬儀は、親類に喪服を借りて出席しました。20年間で、少しずつ集めた仕事道具も使えなくなってしまい、ずっと仕事を休んでいます。体がなまってしまうのではないかと心配です」

壊れた自宅を片付けに来た佐々木守弥さん＝陸前高田市気仙町で24日、野口由紀撮影

宮城

サンリオがチャリティーイベントを開いた石巻市立渡波（わたのは）小学校で、同小2年の土井柚香ちゃん(7)「大好きなキティちゃんが突然体育館にやってきてびっくりしました。握手をしたり記念撮影をしたりした後、キティちゃんのノートやファイルをもらい、とてもうれしかったです。大型連休明けに学校が始まったら、大切に使って勉強を頑張ります」

キティちゃんと土井柚香ちゃん＝石巻市で24日、高橋克哉撮影

片岡知美さん

亘理町下小路の町立亘理小の避難所で家族4人で暮らす片岡知美さん(20)「地震が起きた時は就職活動をしていました。避難所暮らしをしながら、今後仕事に就けるのか心配です。家の片付けには5回ほどいきました。1階の泥の除去が大変でした。だいぶ住めるようになりましたが、まだ電気が通っていません。早く電気が復旧してほしいです」

石巻市のタイヤ店「ミナトタイヤ商会」の尾崎芳二社長(67)と長男健治さん(42)「津波でジャッキやコンプレッサーなど修理道具が流されましたが、一部の機械を入れ直し営業を再開しました。パンク修理は多い日で1日20件。ライフラインが復旧せず、工場兼自宅でろうそくをともして生活していますが、お客さんが喜んでくれるのがうれしいです」

パンク
修理はじめました
粘着テープで作った看板で営業を始めたミナトタイヤ商会の尾崎芳二さん（左）と長男健治さん＝石巻市で24日、堀智行撮影

「希望届けたい」

福島

福島市の避難所になっているあづま総合運動公園体育館で慰問コンサートを開いた福島大学付属中学校音楽部の伊藤百花（ももか）部長(14)「地震の時は京都に修学旅行に行っていて、3日間戻って来られませんでした。避難所で演奏している人をテレビで見て自分もやりたいと思い、先生に提案された時はすぐに『ハイ』と返事しました。被災地の皆さんに希望を届けたいです。そして、東北が早くいっぱいの笑顔であふれてほしいと思います」

伊藤部長（後列右から3人目）ら福島大学付属中学校音楽部の3年生＝福島市のあづま総合運動公園体育館で23日、長田舞子撮影

同体育館に双葉町長塚から避難している広畑トシイさん(79)「一緒に避難している息子がどこにいるかと思って捜していたら、ボランティアが開いた音楽会に飛び入りで歌っていたので『あら～』と思ってびっくり。息子のお嫁さんと孫とは途中で離れ離れになって、別々の避難所で暮らしています。私はインフルエンザにかかって近くの病院に入院しました。とにかく家に帰りたいだけです」

南相馬市小高区西町から家族4人で同体育館に避難している藤田久美さん(38)「9歳と4歳の2人の息子が注意欠陥多動性障害（ADHD）をもっています。長男は近くの小学校に通い、友達もできたようで安心です。無料の幼稚園が近くにあったので次男を入れようとしましたが、人手が足りないからと断られました。今は受け入れてくれるデイサービスが見つかり、ほっとしています。私は地元から離れたことがありませんでしたが、ここで知り合った友達と協力してやっています」

藤田久美さん（左）と長男の涼佑君＝福島市のあづま総合運動公園体育館で20日、長田舞子撮影

■県外からのボランティアを受け入れている地域■

県外から被災地へのボランティアの受け入れ状況は次の通り。特記のない限り、宿泊場所や交通手段の提供はない。問い合わせをする前に災害ボランティアセンター（VC）のウェブサイトなどで情報確認を。電話の問い合わせを受け付けていないVCもある。

＝個人参加も受け付け＝

＜岩手県＞

沿岸被災地では直接県外からの個人ボランティアの受け入れが難しい地域が多いため、内陸部の盛岡市や遠野市からボランティア送迎バスで現地に派遣している。

◆盛岡市発着

・岩手県社協　☎019・637・9711　5月2～8日に大槌町で家屋内外の片付け、泥の撤去を行う。現地への送迎バスは盛岡駅マリオス1階正面を6時半、盛岡市三本柳のふれあいランド岩手を6時50分に出発し、19時ごろ盛岡駅に戻る。事前申し込みが必要で毎日40人を募集、先着順。申込先は名鉄観光サービス盛岡支店☎019・654・1058（平日9～20時、土日9～18時）

◆遠野市発着

・遠野市VC「遠野まごころネット」☎0198・62・1001　陸前高田市や大船渡市、大槌町などへボランティアを毎日派遣。同ネットのホームページから申込書をダウンロードし、参加希望日前日15時半までにメールかファクスで登録する。体育館で宿泊可（寝袋等が必要）。当日は7時半に遠野市総合福祉センターに集合して出発、18時ごろ戻る。活動先・内容は当日決定

＜宮城県＞

・石巻市VC☎0225・23・6015　事前連絡が必要。テントサイト有り。駐車場が手狭なため乗り合わせで

・岩沼市VC　個人は電話問い合わせは極力控え、ホームページで情報確認を。現地VCでの受け付けは8時半から。8人以上の団体は事前連絡（080・5949・7541）が必要

＜福島県＞

・相馬市VC☎0244・36・7827　土日祝日のみ。ブログで確認し、事前に電話連絡が必要

・南相馬市VC☎0244・24・1877　当日9時に市社会福祉協議会正面玄関で受け付け。事前に電話確認が必要

＝団体のみ受け付け＝

＜岩手県＞

・宮古市VC　県外からは土日のみ、10人以下の団体を募集。5月14日以降のみ空きあり。ホームページで活動内容や条件を確認し、1週間前までにメールで申し込む

・釜石市VC、野田村VC　岩手県社協（019・637・4466）で受け付け

・大船渡市VC、陸前高田市VC　遠野まごころネット（0198・62・1001）で受け付け

＜宮城県＞

交通渋滞や、駐車スペースの確保が難しい地域が多いため、県災害VCは、希望者や団体が自らボランティアを募ってバスを手配する「災害ボランティアバスパック」での参加を呼び掛けている。バス1台につき20人以上。活動先の決定は一任。問い合わせは同VC☎022・266・3952

・気仙沼市VC☎080・5949・7475　バスパックでの参加のみ

・東松島市VC☎0225・83・5001　5人以上の団体のみ。事前連絡が必要

・亘理町VC☎090・6853・1097　県外からの受け付けは4月末まで。テント村あり（要事前確認）

×　×

ボランティアを希望する人は、まず基本的な情報を調べ、自分で何ができるか考えよう。

●全国社会福祉協議会被災地支援・災害ボランティア情報（www.saigaivc.com/）　VC一覧のほか、基本的な心構えをまとめている

●助けあいジャパン（tasukeaijapan.jp/）　ボランティアの募集・登録情報を種別、地域別などで掲載

●Yahoo！ボランティア（volunteer.yahoo.co.jp/）　支援活動中の団体などをまとめたほか、震災関連のイベントや募集の検索も

●東日本大震災支援全国ネットワーク（www.jpn-civil.net/）　全国のNPO、NGOなどが多数参加するネットワーク。初心者向け資料やVCの設置状況の地図など

ボランティア

NPO法人・難民を助ける会

在宅避難者の支援に力入れたい

野際紗綾子さん

海外の被災地や紛争地の復興支援に取り組むNPO法人・難民を助ける会（東京都品川区）は3月13日から、スタッフを東日本大震災の被災地に派遣、4月26日までにのべ57人が岩手、宮城両県を中心に救援物資の配布や炊き出しなどを行った。長期的な支援を視野に構えた東北事務所（盛岡市）の事務所長、野際紗綾子さん(34)は「被災地の人たちは今、目の前のことで精いっぱい。復興のサポートを続けたい」と意気込む。

野際さんは第1陣として被災地に入り、行政の混乱ぶりを目の当たりにした。民間団体も全体像が把握できないまま独自に活動を始め、「不足気味のガソリンを使って同じ施設に同じ支援をするために行き、活動が重なってしまうこともあった」と言う。このため、団体間で緊密に情報共有を図るように努力し、各団体が連携して作業を分担することで、効率的でスピード感のある支援が実現できるようになった。

海外で行ってきた支援活動の現場と、今回との違いは、ライフラインの回復が早く、それに合わせて被災者のニーズが目まぐるしく変化することだという。震災直後は加熱不要の食品が喜ばれたが、電気と水道が使えるようになると、レトルト食品の需要が高まった。かと思えば、生鮮食品も求められるようになった。

「前日には喜ばれたものが、次の日に不要になったこともある」と救援物資の発注の難しさを打ち明ける。今後はニーズと支援内容のミスマッチを解消しつつ、「特に在宅避難者の支援に力を入れたい」と話す。【水戸健二】

助け合って生き抜いて

遠くの被災地より

伊勢湾台風の遺児で
母校で語り部を続ける
加古美恵子さん(61)
＝名古屋市南区

約5000人の死者・行方不明者を出した1959年の伊勢湾台風で両親と妹3人を失いました。10歳の時です。独りぼっちになりましたが、幸いにも祖父母らに引き取られ、大切に育てられました。祖父は成人するまで支えてくれました。その後、私は結婚し、家族を持ちました。当時の温かい家庭をお手本にしてきました。

東日本大震災では、100人以上の子どもたちが親を亡くしたと聞きます。避難所で「ママ、ママ」と母親を捜す幼い子の姿が報道されたと知り、孤独や心の傷を抱えた子どもの将来が心配でなりません。

できるなら施設ではなく、親類や里親などの家庭で育ってほしい。遺児になった子どもたちを継続的に見守り、支える社会や環境作りも進めてほしいと願っています。

私は「孤児」と同情されるのが嫌いで、体験を話すことを避けてきました。しかし、約5年前から母校で当時の自分と同じ4年生に語るようになりました。

私は家から出てすぐ、黒い濁流にのまれ、家族とはぐれてしまいました。そして、見ず知らずの少年と浮いた板にしがみつきました。家族を捜しましたが見つかりません。「もう仕方がない」とあきらめ、別の板に乗り移ってトラックにたどりつき、水につかった荷台の上で被災者らに励まされて生き延びたのです。

「大変でもあきらめず、強く乗り越えてほしい。人とのつながりを大事に、助け合って生き抜いてほしい」。災害が繰り返される中、子どもたちに伝えていきたいことです。【聞き手・稲垣衆史】

ミニニュース

■被災者口座の照会可能に　全国銀行協会（全銀協）は、東日本大震災で亡くなったり、行方不明になったりした被災者の遺族や親族を対象に、被災者本人の預金口座を調べるサービスを28日から始める。取引銀行が分からずに困っている遺族らの声に応えた。

被災者の名前や生年月日、住所といった個人情報を、全銀協の「被災者預金口座照会センター」に電話で伝え、口座が確認された場合、取引銀行から連絡がくる。信用金庫と信用組合の口座も5月中に照会可能になる予定。照会センターのフリーダイヤルは0120・751・557。受け付けは祝日を除く月～金曜日の9～17時。

■就活学生に宿泊施設　文部科学省と厚生労働省は26日、東日本大震災で被災した大学生らが首都圏で就職活動をする際に、国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）と労働大学校（埼玉県朝霞市）を宿泊施設として無償で提供すると発表した。

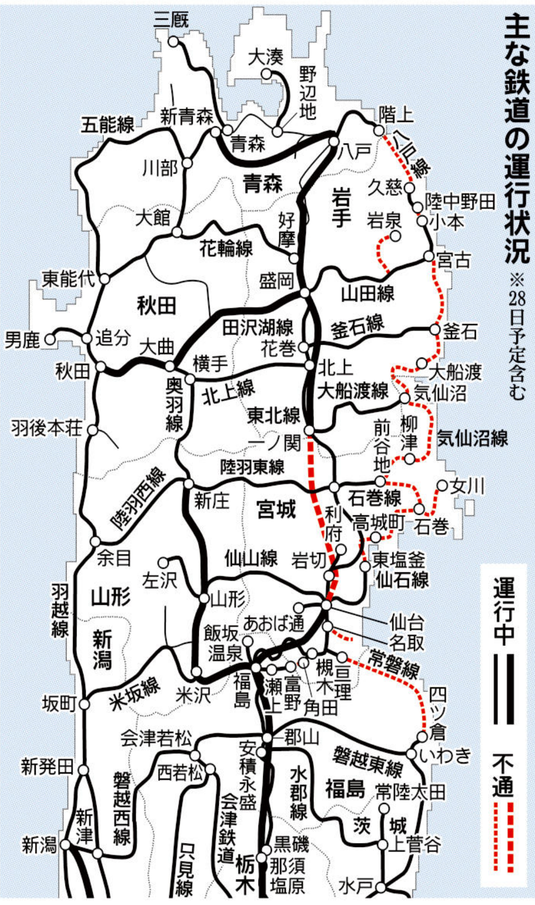
災害救助法が適用された地域の学校に在籍する大学生や高校生のほか、家族が被災した学生や既卒者なども対象とする。

文科省は、震災による内定取り消しなどで留年する大学生が希望する場合、所管の日本学生支援機構が貸与する有利子奨学金について、通常は4年の支給期間を1年延長することも公表した。

■京急電鉄が被災者を採用へ　京浜急行電鉄は27日、東日本大震災の被災者を、グループのタクシー乗務員などの職種で計50人程度採用すると発表した。6月以降に採用する。正社員としてタクシー乗務員25人程度、大型2種免許保有者を対象にバス運転士20人程度をそれぞれ募集する。保育士5人を契約社員として採用し、横浜市にある保育園で勤務してもらう。

主な鉄道の運行状況

※28日予定含む



■主な鉄道の運行状況■

●新幹線

＜東北新幹線＞東京―仙台、一ノ関―新青森で運行。仙台―一ノ関は29日再開し、全線開通

＜山形新幹線＞全線（東京―新庄）で運行

＜秋田新幹線＞盛岡―秋田で運行。29日に全線（東京―秋田）で再開予定

●JR在来線

＜東北線＞全区間で運行

＜仙石線＞東塩釜―高城町は5月下旬再開予定

＜石巻線＞前谷地―石巻は5月中旬再開予定

＜気仙沼線＞前谷地―柳津は29日再開予定

＜常磐線＞上野―いわきの特急は28日に再開予定

●その他

※阿武隈急行の福島―瀬上は28日再開予定。

＜三陸鉄道北リアス線＞宮古―小本、陸中野田―久慈で運行

＜仙台市地下鉄＞29日に全線再開予定。富沢―台原は運行

＜阿武隈急行＞槻木―角田と富野―福島で運行

■主な国内線の運航状況■

28日の運航予定は次の通り。

＜花巻空港＞

羽田便＝3往復（29日から2往復）▽伊丹便＝4往復▽新千歳便＝2往復（28日まで）。いずれも日本航空

＜仙台空港＞

羽田便＝日本航空2往復（28日まで）▽伊丹便＝日本航空2往復（29日からは3往復）、全日空は2往復▽新千歳、中部へ全日空が各1往復

＜山形空港＞

羽田便＝日本航空4往復（29日からは2往復）▽伊丹便＝日本航空5往復（29日からは4往復）、全日空2往復▽中部便＝全日空1往復▽新千歳便＝日本航空2往復、北海道国際航空1往復（29日から2往復）

＜福島空港＞

新千歳便＝2往復▽伊丹便＝5往復。いずれも全日空

■主なバスの運行状況■

＜岩手県北バス＞☎019・654・5814
盛岡―郡山、盛岡―福島などで運行

＜岩手県交通＞☎019・654・7755
盛岡と大槌、大船渡、陸前高田を結ぶ長距離バスなどを運行

＜ミヤコーバス＞☎022・771・5310
仙台―気仙沼、仙台―石巻などを運行

＜仙南交通＞☎022・242・1234
仙台空港―JR仙台駅前で直行バス運行

＜仙台空港鉄道＞☎022・707・2235
仙台空港―JR名取駅で代行バスを運行

＜福島交通＞☎024・531・2706（福島支社）
☎024・943・1651（郡山支社）
高速バスは全路線で復旧

義援金の主な受付窓口

※ゆうちょ銀行（郵便局）の窓口での通常払い込みは手数料無料。他の銀行の本支店間の窓口振り込みも手数料無料。

●政府

・三菱東京UFJ銀行東京営業部
普通0322313

・三井住友銀行東京公務部
普通0167524

・みずほ銀行虎ノ門支店
普通4130160

・ゆうちょ銀行　00130・6・623461

口座名はいずれも「東日本大震災義援金政府窓口」

●日本赤十字社

・ゆうちょ銀行　00140・8・507

「日本赤十字社　東日本大震災義援金」

※三井住友、三菱東京UFJ、みずほの各銀行でも受け付け

●中央共同募金会

・ゆうちょ銀行　00170・6・518

「中央共同募金会　東日本大震災義援金」

※りそな、三菱東京UFJ、三井住友の各銀行などでも受け付け